

その他の金属製品製造業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	14～ 15	工場内で、鉄骨階段（仮組）高さ2m50cmに手摺を仮組立作業中、足を滑らせて転倒し、顔面を強打して骨折し、右脇腹肋骨も骨折した。	70	10 ～ 29
1	14～ 15	製品の仕上げ作業中に、作業台から足を踏み外し、作業台の角で右足の脛あたりを裂傷した。	19	10 ～ 29
1	10～ 11	当社工場内水洗ブース内に於いて、センターパネル（縦108cm、横79cm）を吹付作業中、作業台（鉄製）の上・下段を行き来しながら作業していたところ、下段に下りる際、足を滑らせ水が流れているU字溝に転落（下段高さ48cm：U字溝深さ20cm、計68cm）右大腿部をU字溝に打ち骨折し負傷したものである。	50	10 ～ 29
1	16～ 17	敷地内で、トラックの降車時に足を滑らせ後ろ向きに落ちたので、左手をついた時に手首が折れた。	58	10 ～ 29
1	16～ 17	工場内にて製品パイプの検品中、高さ1.0m、長さ1.7mのパイプから誤って足をすべらせ落下し負傷した。	60	1～ 9
2	9～10	当社で製造した軽量鋼製パネルと受入先に納品し、荷降し場所の確認の為段差のある幅40cm、高さ75cmの布基礎コンクリート上部を歩行中にその段差に足を取られ、深さ75cmの設備用配管ピットに転落し被災した。尚、被災時はヘルメットを着用していた。	21	—
		始業後加工予定の母材内径に貼ってある母材カードを剥がす為に当該被災者が内径		

2	8~9	に手を入れている際に、同時にクレーンマンが当該コイルをラインに供給する為にリフターを降下させた。被災者はクレーンの死角で作業（身を屈めた状態）をしていた為、降下してきたリフターに頭から押しつぶされた形になり、無意識に横に逃げたが、背中を圧迫された。	34	50 ～ 99
2	9~10	当社工場内で製品の乾燥炉の出荷に向けた解体作業中に炉壁の一部を、天井クレーンで吊り上げながら、脚立の上（高さ1.5m）でボルトを外す作業中に同炉壁と固定する最後のボルトを外した時点で、同炉壁のバランスが崩れ被災者に当たり、脚立から落下して負傷した。	44	10 ～ 29
2	14~15	第5工場で製品梱包作業をするため、チェーンコンベア上で停止している製品の間を通り抜け、踏み台に着地するつもりだった。しかし、踏み台への目測を誤り、踏み台の無い所に足を着地した。そのため、バランスを崩し、対面の踏み台に、顔面を強打した。	62	50 ～ 99
2	10~11	屋外ヤード・材料置場にて橋型クレーンを使用し、板の選別作業をしている時に、停止している端をクレーンのサドル部分（高さ1m程）に上がった際、足を滑らせてバランスを崩し、地面へ仰向けに転落し、腰を負傷した。	68	30 ～ 49
3	13~14	客先にて廃自動車を積み込み中、4tユニック荷台上で左手でリモコン操作し、廃自動車を右手と右足ですらそうとした際に廃自動車が雨で濡れていたため滑り、バランスを崩し荷台から落下し、その際に右腕を下にした状態で着地した。	36	1～ 9
3	17~18	1t車の荷台から降りる時に荷台に積んでいたパレットに巻いてあったラップで足を引っ掛けてしまい、左足から落ちてヒザを強打した。	44	10 ～ 29
3	10~11	会社倉庫の階段を段ボール箱の材料を持って降りていた時、前があまり見えずに滑って下に落ち、足首を骨折し、顔も負傷する。	46	1～ 9
3	0~1	酸化鉄回収現場で作業員Bが車上で積み込みに手間取っていたので、作業員Aが車上に登り、積み込み作業の応援を行っていたが、応援作業終了後、車上を移動中にバランスを崩し転落した。	62	10 ～ 29
		工場内段ボール置場で、棚横で置いている上段にある段ボールを取り出す作業を		

3	15~16	行っていた。移動式作業台（高さ約2m4輪キャスター付き）を棚に平行に置き、作業台に登り段ボールを取り出そうとした。しかし、必要な段ボールが登り階段寄りであったため、階段寄りの位置で段ボールを取り出そうとした。その際に車輪止めをしていなかったせいで作業台が動き、バランスを崩して階段側に落下し、右前頭出腫と右手首を骨折した。	59	50 ～ 99
3	9~10	工場内で4tトラックの荷台の片付け中、足を滑らせ後向きに転落した。	57	1～ 9
3	16~17	製品（マスト）の溶接作業終了後、脚立を使って降りようとした時に足を滑らし転落した。	54	10 ～ 29
3	11~12	自社製品倉庫内にて棚卸作業中に、高所にある製品をラック台の上に上り確認していたところ、誤って足を踏み外し、左脇腹及び右足の脛を強打した。	56	10 ～ 29
4	8~9	会社工場内で、焼付炉内の天面の拭きとり作業中、足場の（高さ約1.2m）上に昇った際にヘルメットが落下したため脚立を使わずに降りようとしたとき、足を滑らせ地面に転倒し、足場が設置されている斜面側から滑り落ち、左胸部から脇腹にかけて打ちつけた。	44	50 ～ 99
4	9~10	出荷製品（バラ）を作成中に、作成している製品（バラ）を積み込むトレーラーが入庫したタイミングで出荷製品（バラ）の作成ミスが発生したため、慌ててミスの発生した製品の対処に向かう際、製品上から転落してしまった。第二工場内（製品置場）において、出荷製品の準備作業中に梱包された製品を注文で指定された本数へ組み直す。作成ミスが発生（出荷品と在庫品を逆に梱包してしまった）したため、製品の上面を移動しながら、目的の製品の上面に到着予定。長さ9Mの製品上から長さ7Mの製品上へ移動するつもりが9Mよりも2M短い事に気付く事が遅れ転落してしまった。	32	30 ～ 49
4	13~14	二階から下におりる時に一番下の段で踏みはずし、右の足首を骨折した。	55	10 ～ 29

4	23～ 24	社長の特命で、幹事・世話役として新入社員歓迎会に出席した後、電車外回りに乗車後に眠り込み、目覚めて下車し、何らかの拍子に足を滑らせてホーム下に転落した。その際に右側頭部を強打し、外傷性クモ膜下出血となり死亡した。	48	10 ～ 29
4	16～ 17	荷降ろし作業の為コンテナ内に上がろうと車両に右足をかけたところ踏み外してしまった。その際、掴んでいた両手が外れ後へ転倒し、両手で身体を支えたが右手首を骨折してしまった。	48	30 ～ 49
4	9～ 10	地面に埋め込み式の鉄くず缶が一杯になり空の鉄くず缶に交換した際にバランスを崩し空の鉄くず缶の中に落下し、左ひざと腰のあたりを強打した。そのあと自力ではい上がり測定作業をする際にバランスを崩し、製品と接触して口元を切った。	62	—
4	9～ 10	トレーラー荷台プロテクター部分より頭から転落した。その後、通常通り勤務していたが気分がすぐれなくなり、手術を受け、頭部に溜まっていた血を抜いた。	42	10 ～ 29
5	11～ 12	工場内の高さ1.5m程に積み上げたH鋼上で、しゃがんで角パイプをクレーンで吊り上げる作業をしていた。少し吊り上げた際に角パイプが動きぶつかりそうになった為、立ち上がった時に足を踏み外し背中から落下し、右足を鋼材に引っ掛けて靭帯を損傷した。	22	10 ～ 29
5	16～ 17	事業場内のパレット置き場の位置で、製品を取り出す作業中、パレットの2段目（1.8m）に足を掛けて取り出そうとした際、バランスを失い、飛び降りた時に両足かかとを強く打ってしまい、両足かかとを骨折した。	57	1～ 9
5	18～ 19	客先にてトラックに荷物を載せ、バンドで固定する際、荷台でバランスを崩し転落した。	67	1～ 9
5	18～ 19	事業所作業場にて、トラック搭載のクレーン操縦席横のアームを修理後、元の位置に取付作業中、高さ2m50cm位の被災者が作業している所に手伝う為に脚立を上り、クレーン運転席の畳んであった背もたれ（手動式）に手を掛けたところ、背もたれが動いてしまい、その反動で背もたれから手が離れ、バランスを崩し脚立から後方に落下した。	69	1～ 9
		当社工場内の製品搬出作業場で、搬出口に10tトラックを横付けして、金型製品		10

5	14～ 15	(1,000mm×1,000mm×1,000mm、1t) を10tクレーンで吊り上げ、トラック荷台に積み込み作業をしていた時、搬出口（高さ1m）の端から足を踏み外して落下し、着地した時に右足の足首と第4指と第5指を負傷した。	25	～ 29
5	16～ 17	鉄骨製品の溶接作業が終わったので下向溶接用回転機から、製品を降ろすため玉掛けをしようとして、回転機の上部蓋を外して製品の上（高さ1.6m）に乗った際、製品がぐらついて下に落下した。	29	50 ～ 99
5	9～ 10	梱包ヤードにてコイルの梱包作業中、梱包作業場所の横に転倒機のピット（高さ50cm）があるが、梱包作業中にバランスを崩し左足から落下し、左足を負傷した。	35	10 ～ 29
5	9～ 10	当社スクラップ置場にて、作業のために積み重ねたスクラップの上部に梯子を掛けて整理作業をしていたところ、バランスを崩して1.5m下の床面に滑り落ちて、左膝を強打して負傷した。	68	1～ 9
5	14～ 15	作業場において、4tトラックから製品をおろす作業中に足を滑らせて転落した。その際、地面にあった枕木に強く当たり骨折した。	66	1～ 9
5	16～ 17	倉庫内で、脚立を使用し10kg程の商品を3段の棚から降ろす際に右足から地面に足を着けようとし、脚立が右側に滑った。その際にバランスを崩し、左側に左足から転倒して被災した。	25	1～ 9
6	17～ 18	製造作業場内において、製作中ハウスの床板を貼る前の鉄骨柱の床（幅30cmの鉄骨材が25cm間隔で渡してある）の上を歩こうとして左足を踏み外し、鉄骨材の隙間に両足が前後に落ちた。はずみで上体のバランスを崩して横に倒れ、左足膝下を骨折し、右足に擦り傷を負った。	56	30 ～ 49
6	16～ 17	工場構内6ラインEブロックのヤード作業場において、脚立を使用して仮組みした桁上に上がろうとした時、手すりに手を掴み損ねて、下から3段目（高さ1300mm）から右側に転落し、身体の右側を打ちつけて負傷した。	56	100 ～ 299
6	20～ 21	鉄工所内で、被災者はトラックの荷台で積み込みした鉄骨製品を荷台上でチェックをしていた。チェックが完了したので、下へ降りる為に荷台から飛び降りようとした時に、荷締めをしてあったワイヤーに右足を引っ掛けてしまい、バランスを崩	24	50 ～ 99

		すような形でお尻から地面に転落し、右足脛と膝付近を捻り受傷した。		
6	13～14	取引先納品場所において、空カートの積み下ろし時に、空カートがバランスを崩したので支えようとし、4tトラックの荷台から落下した。落下時に体勢を整えようとしたが、足のつき方が悪く、アキレス腱を切ってしまった。	41	10～29
6	14～15	作り物の作業中、台の上（80cm）で溶接中に後ろ向きで歩き、足を滑らせ転倒し、左手をつき骨折した。同時に、台の作りかけの物が落ちて挟まれた。（重量約50kg）	32	1～9
6	21～22	機械加工の終了した製品をクレーンを使用せず降ろしている時に、機械の階段で足を滑らせてしまい、製品が左手首に落ちたことにより、左前腕切創・神経断裂となった。	21	50～99
6	10～11	工場内で、持ち込みのトラックの上にシートを掛けていた時に足がふらつき、荷台（高さ1.7m）上から転落し負傷した。	55	1～9
6	9～10	一次加工、鋸盤（切断）での2回目の切断準備中、切断マークに光を当て鋸刃の影に切断マークを合わせる作業中、工場の明るさで、鋸刃の影が見えにくかったので梁の上にのぼり切断マークを合わせる作業を行い、作業完了後、梁の上から降りる時に足が梁のフランジに引っ掛かり、そのまま前に転倒した。転倒した時に、下に置いていたH294×200×8×12、長さ400の切れ端（スクラップ）のフランジ上面に顔をぶつけた。	22	10～29
6	9～10	工場で、大型トラックの荷台（地面から約1.78m）にて鉄骨の積み込み作業中、荷締めしようと荷台の端に立った時に足を踏み外して落下し、右足の踵を強打した。	60	10～29
6	0～1	乾燥炉に製品を単体で挿入して、玉掛け具（スリング）を中で外し、出ようとタラップを上がり最上段のバー（丸棒）を握った瞬間に落ちた。	28	30～49
7	15～16	トレーラーの荷台に積んである製品の合番を見るために製品にのった時（のぼろうとした時）、すべって地面におちた。	61	50～99

7	13~14	事務所内の2階から1階に下りる階段を清掃中に足を滑らせ約1.5m下に転落し、左足踵を骨折した。	49	10 ～ 29
7	8~9	トラックの荷台に配達をする荷物を置いていたところ、誤って荷台から落ちてしまい、右腕を負傷した。	48	30 ～ 49
7	16~17	請負現場において、クレーンでの運船作業中クレーンの動きを確認するため、積み上げられた、鉄パイプの上に登ったところ、バランスを崩し落下し、負傷した。	45	10 ～ 29
7	20~21	工場での作業終了後、手洗い場へ向かう途中で、ルートを勘違いして、工場の間を流れる川へ落ちてしまった。（川底はコンクリートで深さ2.5m）	64	10 ～ 29
7	11~12	弊社工場内において、H鋼（高さ300mm×幅150mm）を切断する作業中、寸法を測ろうとH鋼の上に上がり移動中、誤って、右足を踏みはずし、右膝に全体重がかかったのが負傷の原因である。（当日は様子を見て、終業時刻まで仕事をしたが、痛みが続いた。）	40	1～ 9
7	15～ 16	ケース炉600ラインの中央の準備台に止めたPPカーの足場（高さ57cm、幅30cm、奥行140cm）に登って品物をホイスで吊り下げる作業をしていた。作業で使用する金属棒を下に落とした為拾おうとした。その1歩目で足場の上から足を踏み外し、お尻から落下した。	32	50 ～ 99
7	15～ 16	第1工場内コイル矯正機現場で、コイル先端をロールに入れる作業中、誤ってコイルをロール下に入れてしまったため引き抜いたところ、握っていたコイルが跳ね、それにつられて現場から落下（1.8m）し、右膝を打撲した。当日は軽い痛みのため業務を続けたが、翌朝になって痛みがひどくなった。	54	50 ～ 99
7	8～9	事業場内の事務所棟3階会議室で、入社に伴う説明が終わり、足のサイズ合わせで履いた安全靴をはいたまま、作業着に着替えるため別棟のロッカー室へ向おうと3階から階段で降りようとした。その際、足元をよく確認しなかったため、階段の1段目で足を滑らせ、5段目くらいまで滑り落ち、尾てい骨付近を強打した。	50	50 ～ 99

7	17～ 18	帰社するため、工場出入口の階段（敷地内）を下りていた際、誤って足を踏み外し、階段6段のうち3段目から落下し、左膝を強打し、膝蓋骨を骨折した。	46	50 ～ 99
7	11～ 12	当社の近所にある会社が廃業するので、その会社の機械の一部を引き取るため、中2階下より1.5tチェンブロック（重量2.5kg）を取り外していた。このとき、レールが少し動いた際にバランスが崩れ、約3.5m下に落ちながら垂れ下ったロープを掴んだため、右足から着地して右踵を負傷した。	68	1～ 9
7	14～ 15	工場内の材料ストックヤードにて、材料の仕分け作業中に鉄筋資材の上（高さ1.7m）を移動していた。移動中にバランスを崩して転落し、コンクリート床に身体の右側から落ちて被災した。	64	30 ～ 49
7	13～ 14	工場内の立体倉庫において、上方のパレテーナの収まりが悪く、正常に作動しなくなった。収まりを修正するため、移動装置備え付けの梯子に上がり修正を行い、その後、梯子を下りる途中で梯子から落下した。おそらく手が滑って梯子を放したものである。	26	100 ～ 299
9	16～ 17	カントリーエレベータ内で、湿式スラッチコンベアのモーター部分の工事完了写真を撮り終わって下りる時、高さ1.2mの位置から足をすべらせ落下した。	55	30 ～ 49
9	17～ 18	2階の有線LANケーブルが断線していたので交換作業を行うことにした、ケーブルの巻線が1階事務所にあるので1階の窓枠に上がり、2階から線を引く為の穴の拡張作業を行った。終了し、傍にある机に足を掛けて下りる時にバランスを崩し落下した。その際、机角に背中と腰を強打した。	47	30 ～ 49
9	13～ 14	当社工場、第3工場トラックヤードにて、4トントラック荷台から降りようとしたときに踏み外し荷台から落下、荷物を荷台に載せるために駐機していたフォークリフトの爪部に顎が当たってしまい裂傷、打撲したものである。	40	10 ～ 29
9	7～8	出向先に於いて、廃液をバキュームローリー車で吸い上げる作業中、通常よりローリー車が離れて駐車した為、ホースが地面に着かなかったので廃液タンク横の給水タンクの架台の上にホースを乗せて吸い上げようとして、給水タンクの架台の上に	49	30 ～

		よじ登り、ホースをセットした時、足が滑り架台から地面に落下してしまった。 その際、頭部他数か所を打撲骨折したものである。		49
9	10～ 11	倉庫内を移動中、階段を踏み外し、3段目から床まで落ちた時に、左足首をひねったものである。	53	30 ～ 49
9	8～9	当日、工場施設内に於いて、製品を出荷するため、大型トラックの荷台に上がり、納品する部材の写真取りの作業を行った。その後、荷台（高さ約1メートル）から地面に降りようとした際、右足が積み込まれていた、木パレットとバツカンの間に引っ掛かり、バランスを崩した状態で、腰部右横側から地面に落ちて負傷したものである。	59	50 ～ 99
9	11～ 12	立てかけていた製品を台車にのせる時、作業手順を間違え製品が倒れて負傷した。	65	10 ～ 29
9	16～ 17	工場本棟の高所ファンの取り替え工事後のコーティング作業の為に、併設する作業場の鉄製の屋根の上（高さ約7m程）で作業中に少し離れた場所にあった明かり取り用のFRP部分を誤って踏み割り落下した。落下場所付近にあったパイプ固定冶具（ステンレス製の40Aパイプ）の上に、うつ伏せ状態で落下、冶具のパイプが腹部を貫通した。	65	10 ～ 29
9	14～ 15	建屋と建屋の通路で、棚の解体中、棚の底板を解体、リフトにスキッドを乗せただけの状態で、スキッドに底板を移す時にバランスを崩し固定されていないスキッドに足をかけて落下し、体を地面にうちつけ負傷した。	51	30 ～ 49
9	15～ 16	工場のカラミ置場に於いて、壁に設置してあるコンパネの取り替え中、脚立（110cm）に乗って作業していたところ、身体のバランスを失い脚立と一緒に倒れ下の土間（サンド）に落下した際、左手に持っていたインパクトレンチが前額部に当たり負傷後、死亡したものである。	69	30 ～ 49
9	14～	敷地内にて廃品機械回収作業中、機械に掛けてあったブルーシートを2台の機械にまたがる形で外していたところ、右足を滑らせた、そのはずみで右側の機械に右肩をぶつけ、左側の機械の上に左足が引っかかったまま左ひざを捻るような形で機械	42	30 ～

	15	の間に落ちて負傷した。その日は定時まで仕事をして帰宅し、夜に左ひざの腫れと痛みが酷くなってきたため、翌日病院を受診し、そのまま入院となった。		49
10	9～ 10	当社事務所棟の外壁補修作業中、一人でハシゴに上り高所で作業していた。体勢を変える為、梁にかけていた安全帯を外し、体の向きを変えたところ、ハシゴが横滑りし、ハシゴと一緒に横倒しとなり、そのまま落下した。落下の際、ハシゴの格の部分が左足首に乗った状態となり、ハシゴと自身の体重が足首に集中した。	44	1～ 9
10	11～ 12	テント倉庫で補修作業中、足場不安定により転落。	41	10 ～ 29
10	10～ 11	社内作業場にて、鉄屑の荷降ろしを終え重機から降りる時に、足を踏み外して左肩から落ちて、左手を地面に強打し左手首を骨折してしまった。	57	10 ～ 29
10	10～ 11	当社内資材置き場にて、整理整頓を行うためトラッククレーンを移動させようと乗車する際、乗降用グリップを掴み損ね乗車ステップ（高さ約1m）から転倒し地面に右手を着き負傷した。	59	10 ～ 29
10	16～ 17	自社工場内にて6尺脚立（高さ1.8m）の上から上段目の片側に両足で立ち、やや不安定な体勢で金属タンクの製造加工作業を待っていたとおころ、バランスを崩し脚立から転落してしまった。その際に右手を突いて着地したところ、右手首を骨折してしまった。	22	1～ 9
10	11～ 12	当社製品の在庫確認のため、3階にある事務室から在庫の置いてある2階へ移動していた。事務室を出て階段（7段・幅120cm・踏面26cm・高さ約160cm・手摺有り）を降りていたところ、急いでいたためか踏面を踏み外し、階段の上から2段目あたりから転落した。踊り場に着地する際、咄嗟に両手をついたため、両手と額が地面と衝突、負傷したもの。	57	10 ～ 29
10	14～ 15	工場において、屋外の梁の塗装作業中、塗装を終えた梁（300×600）の上に乗る、次の梁を横に倒していたとき、バランスを崩して梁の上で転倒し、頭を打ちアスファルト路面（高さ90cm）に転落負傷した。	61	1～ 9

11	14～ 15	自社の作業内で4tトラックの荷物を降ろしの時に、荷台から降りる際に、右足をあおりに乗せ、左足を工場内の常搬にかけて荷台から下りる時に、左足が常搬から滑り左側の手とお尻を床に落ち強打した。	60	1～ 9
11	16～ 17	工場入口付近でトラックを片付け終わり、荷台から降りようとした時、アオりに左足が引っ掛かり、右腰付近から、地面に落下した。右腰を強打し痛みがあった為病院へ行った。	59	10 ～ 29
11	16～ 17	派遣先工場内の作業場裏にて製本作業で出たゴミを捨てている時、フォークリフト通路幅の狭い場所で前方注意を怠り、フォークリフトの左前輪と接触した。左足の親指、人差し指、甲部を負傷した。	52	1～ 9
11	13～ 14	当社加工場内で鉄筋（約500kg、約100本）を門型クレーンにてトラックに積み込む作業中、荷台の上でクレーン操作をしたまま、別の搬入車両に気をとられ、目を離した際に、吊荷の鉄筋が体にぶつかり、トラックの荷台から落下した。その際、接地した左膝と両手に怪我を負った。	54	1～ 9
11	18～ 19	トラックの荷台で、荷下ろしのため、製品を固定するバンドを外していた。バンドを外し終わってトラックの荷台から降りようとした時、製品の載っていたパレットに躓き、転倒し荷台から落ちた時に左手を着いて受傷した。	54	1～ 9
11	12～ 13	鉄加工工場内の2階食堂休憩室にて、昼休憩後、作業開始の為階段を下りる時に上から3、4段目から足を踏み外し滑り、階段中腹踊り場に止まり腰を痛めた。	22	10 ～ 29
11	16～ 17	工場内整理作業中発生した廃材を4tトラックに積込作業をしていて、荷台から降りる際に、足を滑らせバランスを崩して右足踵から落下し、右足踵を強打して負傷した。	60	1～ 9
11	16～ 17	会社工場内の階段をコアの機械が入ったプラスチックケース（重量6～7kg）を右手で持ち、手摺りを持たずに中2階から1階へ下りている時に、下から4～5段目で足が滑り体勢を崩して滑り落ち、地面で左足の踵を強く打った。尻もちをついたが、腰の痛みはあまりない。	28	30 ～ 49
		脚立に上り製品に玉掛けしようとした際、ぐらついたのでバランスを崩し、脚立が		50

12	10~11	転倒し、落下した（左足首2ヶ所骨折）。	64	～ 99
12	18~19	終業後、帰宅するため2階本社事務所より階段を下りる際（階段は22段あり、途中に踊り場がある階段）、あと7段ほど残っていたところで足を滑らせて踏み外した。滑り落ちて左足関節を骨折した。	48	50 ～ 99
12	14~15	作業場に防災用カーテンを取り付けるため、鉄骨製の材料棚（高さ3m、幅1.5m、奥行3m）の最上段まで上がった。プラスチックカーテンレール（長さ4m、重さ1kg）を他の者に渡して、棚を降りようとしたところ、棚に材料が置かれていたため、左足を置くスペースを確保できず、約2mの高さから転落して左足の甲を骨折した。	43	30 ～ 49
12	16~17	工場内の天井クレーンで作業している作業員に工具を渡すため、梯子を登っている際、手を滑らせて約4mの高さから転落し、背中を強打した。	57	1～ 9
12	14~15	ブレーキ工場（曲げ加工）で、普段から使用している機械の年末の掃除および油さしをするため、高さ約2mの機械の上に上り、両手に荷物（スプレー缶・ウエス）を持った瞬間にバランスを崩し、足を踏み外して転落し、肋骨を折った。	58	1～ 9
12	14~15	定盤の上に脚立を立て、その上で作業（高位置にあるイーグルの取り外し）を行っていた際、使用した脚立が、老朽化のため脚裏のゴムが外れて滑り易くなっていた。脚立上で体重移動を行った際、脚立の脚が滑り、定盤から1点が外れて転倒した。	65	10 ～ 29
12	16~17	掃除の時間中に、休憩室のエアコンのフィルター掃除しようとしたところ、近くに脚立がなかったため、折りたたみの会議テーブルに乗って掃除をしていたところ、テーブルの脚が重みでたたまれ、滑って右手を強く打った。	58	10 ～ 29
12	11~12	製品を降ろし終わり、10tトラックを運転するため荷台から下りる際、運転台の横にある梯子から下りずに、後部タイヤの上に足を下ろし、パイプの所に足をかけて下りようとしたところ、足を滑らせたため飛び下りようとしたとき、転んでしまい負傷した。	54	100 ～ 299

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html